

地域研修報告書（岡谷市立岡谷西部中学校）

1 学校名

岡谷市立岡谷西部中学校

2 日時

令和2年5月29日（金）10:00～15:30

3 研修の目的

岡谷市の市の花であるツツジを総合的な学習の時間の素材としての利用を考える。

本校で行っている挿し木や育成以外の探究が可能であるかの調査。

ツツジを使用した草木染の実践。

4 参加者

後藤元彦 小平泉 岩村忠幸 齋藤雅宏 名子はるか

5 研修場所

鶴峯公園（ツツジの花の採取）

調理室（草木染）

6 研修内容

鶴峯公園の視察とツツジの花の採取



- ・満開のツツジですが、新型コロナウイルスの関係で公園内の立入は禁止されていました。
- ・外から見るだけでも立派なツツジの樹に驚かされました。
- ・道路沿いの花を採取しました。色、大きさ様々な花を2kgほど採取できました。



- ・一見同じような色でも、並べて見ると色の細かな違いが分かりました。
- ・多種多様な種類が植えられており、種の特定期だけでも学習になると感じました。

ツツジの花をつかった草木染



- ・採取した花を利用して、草木染を行いました。今回は、紫色の花を使用しました。
- ・酢とミョウバンを使用した一般的な草木染に挑戦しました。
- ・染め方は、花卉のままの煮出しとミキサーにかけてからの煮出しにしました。
- ・酢やミョウバンによって、変色しましたが、花の色が残りました。



- ・染めた直後は左の写真のように花の色がよく出ていました。
- ・水洗いをした布が右の写真になります。花の色からかけ離れた薄緑になりました。

7 研修を振り返って

ツツジは岡谷市の花であり、ツツジの名所・鶴峯公園が学区内にある本校はツツジとの関わりが深く、お花見給食や植樹、総合的な学習の時間を利用した挿し木などを行い、ツツジを素材とした学習（植樹や挿し木）は、既に本校において継続した活動となっています。

植樹や挿し木以外で、総合的な学習の時間の素材として、ツツジの新たな一面がないかと思案したのですが、良案が思い浮かばず難航しました。そこで、校長先生に相談したところ「草木染」の存在を教えてくださいました。ツツジを育てることだけを考えていた私は、全く別の面からのアプローチに興味をもちました。

しかし、誰も草木染についての経験がなかったので、一から草木染の方法から調べ、手探りでの実践となりました。この一から調べて実践していくことの楽しさを味わいながら実践した結果は、上記の写真のように予想外の色となりました。なぜ、どうしてという疑問や、違う色ならどうなるか、葉や茎でやったらどうなるかなどの更なる興味がわくことになりました。

ツツジを素材とした「草木染」の研修は、ごく一部しかできませんでした。しかし、生徒とともに1年間を通して探究していける素材であると確信できるものでした。染める花の違い、花以外の部位をつかった染色、染色液の作り方、染める布の種類など、アプローチの仕方は無数にあるといえる。今回の研修を生かして、本年度の総合的な学習の時間で「草木染」をテーマとして探究している学級があるので、その学級の探究がどのような結果になるのか楽しみであります。